

特43

920

014131-000-3

特43-920

諸職祖神記每朝夕神拝祝詞

唐崎 進/編

M16

ABB-0406



唐崱進編輯

諸職祖神記

每朝夕神拜祝詞

全

明治十六年
七月出版

朝陽堂藏版



諸職祖神記

緒言

夫人よて天賦と云て各職分あり必々銘
 々の智恵分別にてて出来ぬものなり何
 事と為るも一心誠を以て務めよ一心誠
 に成る時は是則 天照大御神と一体な
 り何事も向ふもの事皆有難に致せと我
 が教祖神の教給ひ一一如く人各々吾受得

たる職分を一心誠いっしんまことに成なりて務つとむる時ときハ一いつ
身み一家いっかの幸福さいふくと神々うみより授さづけ給たまふなり
何職なにしやくよても必かならず々ごと銘々めいめいの分ぶん別べつにてハ出で来き
ぬるり悉み皆みな其職そのしやく々ごとを始はじめ給たま以も神々うみの
御坐みまにより人ひと各々おのづか其職そのしやくと創つくめ給たま以も神々うみ
を祭まつり給たまえ其恩そのおん頼たのみに報むかひ奉まもるれを其その
各々おのづか職しやくと為なる処ところの祭神さいじんと普あまく諸人しよじんに知し
しめむと此書このしよを編へん輯しやくせるものぞ

天之御中主神あめののみちのなかつまのりみ

天地萬物主宰給ふ元神てんちばんぶつしさいたまえんじんなり

高皇産靈神たかみむすびのりみ

神皇産靈神かみむすびのりみ

此二神の御徳このふたごののみとくに依よりて天地萬物てんちばんぶつハ出いで

来きたり

天照大御神あまてらすおほみこと

前まへにあげとる三神さんじんの御功用のみこうようと合あ併はせ

て天照大御神と尊稱奉るなり教祖
神の一神萬神と説給へるハ此意也

月夜見神

天照大御神の御光と分夜と職りて
世界を照し給ふ神なり

須佐之男命

潮をつらさどり玉ふ神なり

大年神

此神ハ春夏秋冬を守り給ふ神なり

大地主神

此神ハ地所を守り給ふ神なれば家
作又農工商共よ地所の御蔭を受る

者ハ必祭るべし

大山積神

山を主宰給ふ神なり

大少童神

山を主宰給ふ神なり

海を主宰給ふ神なり

住吉三柱神

金刀比羅大神

此神ハ海上安全を守り給ふ神なり
船乗漁師ハ必祭るべし

級長津比古神

級長戸邊神

風を主宰給ふ神なり

速秋津彦神

速秋津姫神

湊を守り給ふ神なり

瀬織津比咩神

河を守り給ふ神なり

塞神三柱神

道路を守り給ふ神なり

猿田彦神

導^{みちび}の神^{かみ}なり

久々^{くゞ}能智^{のちのち}神^{かみ}

諸^{しよ}木^ぎの神^{かみ}なり

火^ひ結^{むす}神^{かみ}

火^ひと主^つ宰^さ給^{たま}ふ神^{かみ}なり

埴^{たに}山^{やま}比賣^{ひめ}神^{かみ}

土^{つち}の神^{かみ}なり陶^{やまひ}冶^ひ左^{ひだり}官^{つかみ}等^らの祭^{まつり}神^{かみ}なり

金^{かみ}山^{やま}比^ひ古^こ神^{かみ}

金^{かみ}山^{やま}比^ひ賣^{ひめ}神^{かみ}

金^{かみ}の神^{かみ}なり踏^た鞞^ら師^し鍛^く冶^ち職^{しやく}の祭^{まつり}神^{かみ}

なり

罔^{あや}象^{むす}女^め神^{かみ}

水^{みづ}の神^{かみ}なり世^よに水^{みづ}神^{かみ}と云^いふ是^{これ}なり

草^{くさ}野^の比^ひ賣^{ひめ}神^{かみ}

草^{くさ}の神^{かみ}なり

豊^{とよ}受^{うけ}姫^{ひめ}神^{かみ}

稻倉魂神
大食津姫神
保食神
御年神

五穀を始め鳥獸虫魚總て食物と主
宰給ふ神なり

忌部神

木綿作の祖神なり

屋船久々能智神

屋船豊受比賣神

家の神より上棟の時此二神を祭
るなり總て家を守り給ふ神なり

奥津彦神

奥津姫神

此二神ハ竈の神なり

三井神

井戸の神なり

埴山姫神

廁ういの神かみなり

櫛くし磐い憲えん神かみ

豊とよ磐い憲えん神かみ

門かど口ぐちをまもりたま給たまふかみ神かみなり

阿あ須す波は神かみ

波は比ひ伎ぎ神かみ

庭にわ中なかをまもりたま給たまふかみ神かみ植う木き作さのまつ祭まつ神かみなり

武ぶ塔たつ天てん神かみ

疫やく病びやう除じゆのかみ神かみなり

大おほ加か牟む都と美み神かみ

雷らい地ち震しん除じゆのかみ神かみなり

八や十そ禍ま津つ日ひ神かみ

大おほ禍ま津つ日ひ神かみ

惡あく事と災さい難なん惡あく魔まをはらふかみ神かみなり

火ひ結むす神かみ

水の神
土の神

火難除の神あり

大己貴神

少彦名神

病氣平愈を守り神醫者薬種屋祭ス

神あり

神直日神

大直日神

總ての悪事を善事に改め給ふ神あり

水天宮

水難除の神あり

竜田神

總て虫除の神あり

煩之宇志神

病氣の神ひやうきのかみ

大己貴神おほなむちのくみ

少彦名神すくなひこなのくみ

鎮魂八神ちんこんのやくちじん

大直神おほなるほのくみ

禁厭の神かみあひのかみ

祖神

天照皇大神あまてらすみかみ

天皇御祖神あまみかみのおや

栲機千々姫命たくりのちぢめ

皇后起元神かみきりめのかみ

天思金神あめのおもひのくみ

政事の祖神せいじのかみ

伊弉那岐神いざなぎのくみ

伊弉那美神いざなみのくみ

男女の祖神おとめのかみ

天兒屋根神あめのこやねのかみ

太玉神ふとたまのかみ

神官官員の祖神しんくわんくいんのおやなり

建御雷之神たけにこうらのかみ

經津主神ふつぬしのかみ

軍人の祖神ぐんどのおやなり

大地主神ちほとこぬしのかみ

保食神うけもちのかみ

農家神のうかのかみなり

天目一命あめのまいつののみこと

鍛冶職の祖神うぢしやくのおやなり

石凝姥命いしこりおめののみこと

鑄物師の祖神いそものおやなり

手置帆負命たかきほおひののみこと

彦狹知命ひこさまりののみこと

大工指物師の祖神だいくさしものおやなり

事代主命 ことしろみ

商人問屋仲買の祖神あきんとといやなにかひなり

金山彦神 うらやまひこのうら

金山姫神 うらやまひめこのうら

金物屋の祖神うらみやなり

玉造祖神 たまつくりのおやうら

玉作の祖神たまつくりなり

酒添豆男神 さけみつあまのうら

酒添豆女神 さけみつあめのうら

酒造屋の祖神さけつくりなり松尾神まつおのうらとも云ふ

木花咲耶姫神 きはなさきやひめ

酢醬油味噌甘酒糴屋の祖神すいそうみそあまじうらなり

津咋見命 つらいみのみこと

紙屋の祖神かみやなり

天日鷲命 あめのひりゅうのみこと

麻苧荒曾木綿糸屋の祖神あさぞあらいそむしんいとなり

天棚機姫命あめのたなりひめのこと

織物総て女工の祖神おりものごとくおんなのこゝろのいそぎのいそぎ

長白羽命ながしろはのこゝろ

呉服屋の祖神きふくやのおや

奇八玉神くやたまのこゝろ

陶器屋の祖神せしものやのいそぎ

倉稻魂神くらいねのたまのこゝろ

炭屋の祖神こげやのおや

草野姫神くさのひめのこゝろ

八百屋の祖神やほやのいそぎ

上師神うえのしらのこゝろ

人形屋の祖神にんぎょうやのおや

蘓民将来そえんしやうらい

宿屋の祖神やどやのおや

佐比持神さひもちのかみ

肴屋の祖神さうろやのおや

埴山姫神スレヤマヒメノカミ

左官壁塗の祖神サウカンベヅリノカミ

湯山主神ユヤマヌシノカミ

風呂屋の祖神フルイヤノカミ

多遲摩守タヂサモリ

菓子屋の祖神カシヤノカミ

大己貴神オホニギハヤヒノカミ

縁結の神エノムスビノカミ

須佐之男神スサノノカミ

和哥の神ニギハヤヒノカミ

興台魂神キョウダイマタノカミ

五十音の神イソナリノカミ

大宮之女命オホミヤノメノカミ

家内和合の神ケナヘニガハシノカミ

豊吾田津姫命トヨウゴタツヒメノカミ

安産の神ヤスウダノカミ

宇都志日金折神

鹽筒老翁神

鹽濱の祖神なり

宗忠神

此神を吾大日本帝國神道黒住教の
教祖にまゝして教ふるは神人不二
顯幽一致を旨と諭し惟神の大道を
擴充し給ひ兼るゝ禁厭を授けて難

症不治の人を多く助け活し悪人を

善人に導き給ひ御齡七十一歳に

て退去まゝしていまご三十餘年な

に教徒尊信の餘りより神殿を建築

し奉り神徳日々高く冥驗年々新

なる神にまゝに成り

荷田大人

岡部大人

本居大人
平田大人
大國大人

皇季の祖神なり

氏神ハ其家々の祖先の神なり産土神ハ人
々生れたる地所を守り給ふ神々なまば殊
更に其御恩ある故に厚く敬ひ祭るべきな

り八百万神ありといへども一神万神の神
理なればあげてあるまに暇あらば此書に
ハ其大旨と知らしめたるなり者者淺陋杜
撰を笑ふこと勿れ

明治十六年五月

神道黒住教

教導職試補唐崎 進識

每朝夕神持祝詞

掛卷カケマク 毛モ 恐カシヨキ 伎キ 天照大御神アマテラスオホミカミ 乃ノ 大前オホマエ 及マデ 天津神アマツカミ

國津神クニツカミ 八ヤ 百ホ 萬ヨロツ 神等ノカミタチ 銘イ 々ク 職シヨク 業ギ 祖神オヤカミ 又マタ 八ヤ 平ヘ

常尊トヨノミ 信シ 神名カミナ 加ク 乙ニ 乃ノ 御前ミマヘ 尔ニ 何トニ 乃ノ 某ナニカ 畏カシ 美ミ

畏カシ 毛モ 白シラ 久サカ 皇スメ 大御神オホミカミ 諸神等モロノカミタチ 上ウヘ 二ニ 同ナニ 乃ノ 御恩ミクサマノ

賴アユ 乎ヲ 被利カンリ 食物ヲミ 衣服キモノ 住所スミカ 所ノ 始ハシ 米メ 万ヨロツ 事等ノコト 勤ラ 年イノシ

任マ 尔ニ 令成ナラシ 給タマヒ 比ヒ 勉ツトムル 留コ 隨ニ 尔ニ 令得エサシ 給タマヒ 比ヒ 各々オノオノ 我ワ 為ナ

須臾スナハ 掌リ 乎ヲ 無怠オコタル 更ト 無緩ナク 更ト 令務タカシ 給タマフ 布フ 嬉ウレシ 志サ 左サ 喜ヨロコ

比ヒ 重イカシ 比ヒ 尊タラトヒ 比ヒ 敬井ヤコヒ 比ヒ 奉マツラ 良ク 久ヲ 平タヒ 久ラ 安ケ 久マ 所聞キコシ 食幸シヨキハ

反ヘ 給タマヒ 反ト 常盤キハ 尔ニ 堅盤カキハ 尔ニ 守給モリタマヒ 比ヒ 惠給メクミタマ 止ト 恐カシ 美ミ 恐カシ

毛モ 美ミ 白シラ 須ス

明治十六年七月十四日曾版権免許
今年全月出版

定價六錢

編輯人

廣島縣平民

教導職試補唐崎進

岡山縣備前國御野郡上中野村六番地
寄留

岡山縣平民

箕浦平八郎

出版人

岡山縣備前國御野郡上中野村六番地
寄留

